

屋中だより



千曲市立屋代中学校令和8年4月6日 No.1



学校長 柳澤 正寿
(文責) 中平 紀子

<http://www.chikuma-ngn.ed.jp/~yashirojh/>

*「屋中だより」は、屋代中学校ホームページでご覧いただけます。(千曲市教育委員会⇒小中学校⇒屋代中学校)



ご入学 ご進級おめでとうございます



やわらかな春の日差しの中、はじめての制服に身を包んだ103名の新入生を迎えました。全校生徒353名で、令和8年度の屋代中学校が活気あふれるスタートを切りました。新入生の皆さん、そして在校生の皆さん、ご入学、ご進級おめでとうございます。

今年度は新たに10名の職員を迎え、職員42名で子どもたちの成長を全力でサポートしてまいります。「地域とともに歩む学校」として、保護者の皆様、地域の皆様とのつながりを大切にしたいと考えています。本年度も、温かいご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

始業式 学校長のお話 「自分から」と「一人でも」

皆さんに今年度、意識してほしいことを2つお話します。

1つめは「自分から」ということです。

昨年度の生徒総会では、「屋中の誇り」についてみんなで考え合う機会がありました。その過程を通して、それまで何となくあった「屋中の誇り」というものが何のためにあるのか、その目的や願いについて再確認できました。

そして、「合唱」「メリハリ」「挨拶」「清掃」が「屋中の誇り」として決め出されました。「合唱」は、今でも誇りを感じているものである、「メリハリ、挨拶、清掃」はこれから誇りにしていきたいものとなりました。

そこで意識してほしいことが「自分から」ということです。挨拶を例にお話します。皆さんは、自分から挨拶ができていますでしょうか。友達や先生からされればできるという人が多いと思いますが、自分から挨拶ができていますでしょうか。

2つ目は、「一人でも」ということです。皆さんは、仲間と一緒に挨拶できるけど、一人でも挨拶ができていますでしょうか。誰かと一緒にできることももちろん素敵なのですが、一人でもいいことをする、悪いと思うことはしない、ということができるとの方がもっと素敵で、難しいことだと私は思います。

先ほどの代表挨拶の中にも、進級を機に「今日からこれがんばるぞ」「こういう自分になるぞ」という変化や成長への決意が語られました。そうした決意を実現するためには、まず「自分」から動くことです。そして「一人でも」続けることです。令和8年度「自分から」と「一人でも」を意識しながら、皆さん一人一人の夢の実現、屋中の誇りのステップアップを目指しましょう。

